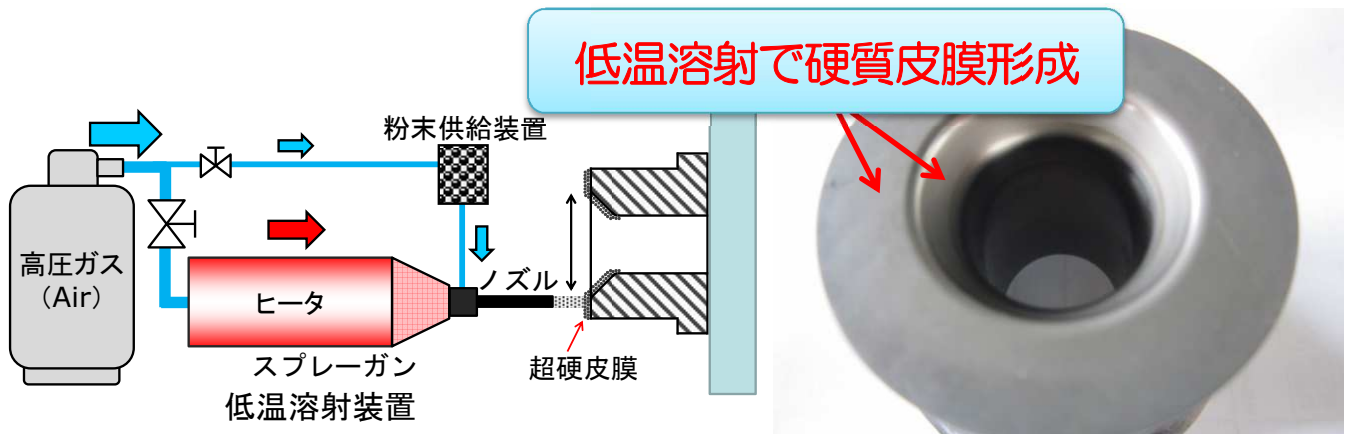




低温溶射法による金型の長寿命化

低温溶射法により、金型表面に超硬皮膜を形成することで、深絞り加工に使用する金型の寿命を延ばすことに成功しました。 ((株)桜井製作所(坂城町)との次世代産業創出共同研究の成果)

課題：プレス時に加工材が焼き付き、成形品にキズがつく。(1000 ショットもたない)



※低温溶射法は、金属などの粉末材料を基材部品へ超音速で衝突させることで成膜する方法です。

溶射後、金型の耐久性が10倍以上向上！

製品に発生したキズ



改善後

10000 ショット後もキズなし！

